

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、持続的な成長と収益力の向上、環境保護に貢献する技術・製品の提供、企業活動を通じて社会に益する存在であることを実現し、「経済」「環境」「社会」の調和がとれた社会的存在価値の高い企業グループを目指します。

(2) 目標とする経営指標および中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、今後さらなる飛躍に向けて拡大・発展を目指し「業界最強の専業」の有機的集合体を実現するため、平成18年度から平成20年度までの3年間を対象とした中期経営計画を策定し、取り組んでおります。

当社グループを取り巻く経営環境は、グローバル化の進展、日本の社会の少子高齢化、環境・エネルギー問題への意識の高まり、官から民への需要構造の変化などを背景として、今後ますます市場原理に基づく競争が厳しくなり、業種・顧客・地域ごとの行性が従来以上に拡大することが見込まれます。一方、中期経営計画期間中の日本経済は、民需を中心として年2%程度の成長が想定され、中国市場においても引き続き高成長が持続すると予想されます。こうした事業環境を背景として、収益の見込める成長事業を積極的に拡大するとともに、強い事業を一層強化する施策に経営資源を集中することにより、事業の拡大と収益性の向上を図り、中期経営計画の最終年度である平成20年度の経営目標として、「売上高1兆円以上」、「営業利益率7%以上」、「D/Eレシオ1.0倍以下」を目指します。

《平成20年度の経営目標》

| | 平成20年度目標 | 平成18年度実績 |
|----------|----------|----------|
| 売上高 | 1兆円以上 | 9,080億円 |
| 売上高営業利益率 | 7%以上 | 5.1% |
| D/Eレシオ※ | 1.0倍以下 | 1.1倍 |

※D/Eレシオ=金融債務残高/自己資本

(3) 会社の対処すべき課題

上記の経営目標を達成するための中期的な戦略ならびに対処すべき課題は次のとおりです。

- ① 純粋持株会社制の特徴を活かした機動力あるフレキシブルな企業集団として、グループ全体の経営の効率化と事業展開のスピードアップを図ります。各セグメントにおいて業界専門トップを目指し、一層の事業の集中と選択ならびにグループの得意分野への経営資源集中により、事業の拡大・発展を図り、収益性と成長性のバランスの良い事業ミックスを構築します。
- ② 拡大・強化機種に対し積極的な研究開発と設備投資を行い、業界No.1コア技術を確立することにより、高シェア・高成長・高収益機種を拡大します。なお、今後3年間において高水準の研究開発、設備投資を行うことを計画しておりますが、今後の市場環境の変化を注視し、事業発展に伴って発生する事業リスクの管理を徹底します。
- ③ 高い成長が期待できる中国、アジアを中心とする海外市場に対し、当社グループが有する得意技術をベースとした製品を投入することにより、海外事業売上規模と収益の拡大を図ります。
- ④ グループ業務革新活動として、生産現場の革新活動を営業・管理部門へ拡大展開し、コスト競争力の一層の強化を図ります。
- ⑤ 経済・市場のグローバル化、少子高齢化などの環境変化に対応すべく、コアコンピタンスの強化と継承、グローバルなステージで競える人材の育成、多様性を前提とした制度構築を基本戦略として、多様な人材の積極登用・活用などによりグループの人材活性化を図ります。